





W20 Japan 2019 コミュニケ（仮訳）

私たち、Women 20 (W20) ネットワークの代表は、G20 ブエノスアイレス首脳宣言に謳われた「ジェンダー平等は、経済成長及び公正で持続可能な発展のために極めて重要である」とする声明を全面的に支持します。私たちは、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて、女性と男性が協力してジェンダー格差の解消に取り組む必要性を改めて表明します。

日本が議長国を務める G20において、人工知能(AI)を含む全ての新技術が社会のあらゆる領域に大きな影響を及ぼすことを鑑み、一人の女性も取り残さないように、W20 は全ての新技術の包摂的で責任のある活用に特に注意を払います。

私たちは、G20 の首脳に以下の提言に対して行動することを要請します。

1. 労働もしくは雇用担当大臣に対し、2025 年までに労働参加率における男女格差を 25% 減らすという 2014 年のプリスベン・コミットメントに関する中間報告を 2020 年の G20 において提示するよう要請する。
2. 労働市場における法的・社会的な構造上の障壁を取り除き、ジェンダー平等を達成するための解決策を提示する。
 - 雇用慣行のすべての側面におけるジェンダー平等を達成するために法的措置を講じ、履行する。特に、SDGs に沿って、賃金、年金、その他の所得を含む、収入におけるジェンダー格差を解消するための施策をさらに実行する。
 - 質が高く、利用しやすい、安価な子どもと高齢者のためのケア・インフラの整備に公的資金を投資し、（家庭における）ケア責任の分かち合いを促すために有給育児休暇の義務化を促す。
 - 雇用主がジェンダー平等に資するエビデンスに基づいた施策を実行し、進捗状況を公表するよう動機付け、ディーセントで質の高い仕事と指導的地位に女性が増えるようにする。
3. デジタルにおけるジェンダー格差を解消し、女性がデジタルにおける権利を行使できるようにする。
 - 倫理を十分に考慮しながらデジタル技術のデザインと開発における女性の平等な参画を推進するための施策を直ちに取り、人工知能 (AI) におけるバイアスのかかったデータセット、モデル、アルゴリズムによるジェンダー差別の増幅を防ぐ。
 - すべての年代の少女と女性の科学、技術、工学、アーツ、数学領域 (STEAM) への平等な参画を後押しする。
 - 都市部と農村部の女性に、安価で、信頼性のある、安全なインターネットとモバイルのサービスを提供する。





4. 女性の金融アクセスを保証し、女性の起業を推進し、投資とマーケットへのアクセスを加速させる。
 - ・ 経済資源と土地及び他の形態の財産、金融サービス、自然資源の所有権と管理における女性の平等な権利を保証する。
 - ・ e コマースを含む、女性が経営する企業のビジネス、金融、デジタル能力を強化するための政策枠組みと行動計画を策定する。
 - ・ 公共調達において、女性が主導し、女性が所有するビジネスによる受注割合をそれぞれの国の状況を考慮しながら、最低でも 10%は増やすための条件を整える¹。
 - ・ 投資家が投資分析や投資に関する意思決定にジェンダー要素を積極的に導入するようなインセンティブを構築する。
5. ジェンダー・ステレオタイプと無意識のバイアスをなくすためにジェンダー平等に関する学校や職場での教育や生涯教育を推進する。
6. ソーシャル・メディアを含む、公的及び私的領域における女性と少女に対するすべての形態の暴力を根絶する。
 - ・ すべての領域での女性と少女に対するあらゆる形態の暴力を根絶するための効果的な法的枠組みを構築し、司法アクセスを保証し、法の執行を強化する。
 - ・ ILO から提案されている仕事の世界における暴力とハラスメントの根絶に関する条約と勧告の採択を支持し、女性に対する暴力に関連した国際諸条約の批准を求める。
7. ジェンダー平等を達成するための効果的で透明性の高いガバナンス及びアカウンタビリティのメカニズムを構築する。
 - ・ 国際機関、国内の連携団体、W20 と協力しながら、ジェンダー平等に関する G20 共同宣言の実施状況を監視するための仕組みを構築し、定期的に進捗状況を報告する。
 - ・ 2030 年までに官民セクターのリーダーシップ及び意思決定における男女同数を達成するという目標に向けて、G20 の枠組みにおいて、共同で進捗状況を監視する。
 - ・ 法律、基準、政策のジェンダー・インパクト評価を行うために、ジェンダー平等の国内推進機構（ナショナル・マシナリー）の権限と能力を強化する。

1. 最低でも 10%を増やすというのは各国の状況の応じた改善を意味する。